

シドニー派遣の成果

名古屋市立山田高等学校 3年 片平大智

1. 私の研修の目標

私の夢は教師になることです。そのため、外国の学校を訪問し、授業などを体験することで、日本の学校との違いを発見し、将来に活かせると思い、この海外派遣事業に応募しました。さらにオーストラリアの歴史や文化についても、直接肌で感じ学ぶことが私の目標です。

2. 事前の準備

現地の方に日本について知ってもらうために、話題を考え、調べました。そして各自が調べたことを英語でプレゼンテーションをして、現地の方に伝える練習や、派遣団で共有し、知識を増やしました。また、オーストラリア出身のAETの先生から文化や特有の英語について学びました。

3. シドニーでの体験

最初に訪れたブルーマウンテンズで、バディと顔を合わせ、いざ1人でホームステイとなると、不安と緊張でいっぱいでした。しかし、ファミリーの方にまるで本当の家族のように優しく接していただき、楽しい時間を過ごすことができました。

体験入学ではバディと同じ授業を受けました。その中には、日本語の授業があり、生徒が日本語で話しかけてくれたことが印象的でした。オーストラリアの学校では、生徒はパソコンを使って、先生はプロジェクターを使って授業をしていて日本の学校よりも技術が進んでいると感じました。さらに、生徒は進んで発言しており、中には、人の意見を聞き、その意見に対する自分の考えを述べるなど、積極的な姿と人の意見を尊重しあうことがすごくいいことで、日本ではあまり見られないことだと思います。さらに、2限と3限の間に30分ほどのリセスがあることや毎時間教室を移動すること、通学にスクールバスを使うなど日本との違いについて体験できました。

シドニーでは、イギリスの植民地だったことを思わせるような西洋風の街並みや、ハーバーブリッジの近くに囚人がいたことなど歴史的な背景を感じました。

ほかにも市役所表敬訪問やタロンガ動物園でも多くのことを学ぶことができました。

4. 研修の成果と今後の課題

<成果>

実際に英語を使って会話することや授業を受け理解することは、想像以上に難しかったです。しかし、失敗を恐れず自ら話すことで、伝えるという姿勢や、知ろうとする姿勢が大切だと分かりました。また、ホームステイを受け入れて下さったホストファミリーの方や現地でお世話になった方々、派遣団の仲間、家族など支えて頂いたありがたさも改めて感じました。

<課題>

今回の派遣では、自分の英語力が低く、1回で理解できなかったり、思い通りに表現できず、通じなかったりしました。さらに、日本や名古屋についての質問も正しく返答できませんでした。なので、来年ブルーマウンテンズの生徒が名古屋にお越しになるので、その時までには英語力を高め、より詳しく説明できるようにすることが、私の課題です。



B. M. G. S. での授業風景